

## 平成27年度大学図書館近畿イニシアティブ運営委員会（第2回）議事概要

日 時：平成28年3月11日（金）午後3時～午後5時

場 所：神戸大学附属図書館 社会科学系図書館 6F 会議室

出席者：中村（佛教大学）、山内（大谷大学）、山崎、金（関西大学）、箱崎（大阪大谷大学）、  
岩見（大阪キリスト教短期大学）、平方、伊賀（大阪市立大学）、赤崎、大前（大阪府立大学）、  
原（同志社大学・能力開発専門委員会主査）、井上(修)、家住（大阪大学）、内島、前川（神  
戸大学）、甲斐、井上(恵)、赤澤（京都大学）

欠席者：沼尻（佛教大学）、井上(輝)（大谷大学）

### I. 報告事項

#### 1. 平成27年度活動報告

##### (1) 事務局

井上(恵)委員から、資料2に基づいて平成27年度近畿イニシアの活動概要について報告があった。

##### (2) 各専門委員会

###### 1) 能力開発専門委員会

原主査から、資料3に基づいて中級研修の実施内容、能力開発専門委員会の活動概要について報告があり、中級研修の参加者アンケートで好評価を得たことが補足された。なお、おって研修資料を近畿イニシアウェブサイトで公開することが確認された。

###### 2) 広報・Web 専門委員会

赤崎主査から、資料4に基づいて広報・Web 専門委員会の活動概要の報告があった。また、近畿イニシアウェブサイトへのアクセス件数の変動について、近畿イニシア主催イベントの告知が掲載されるとアクセス数増となる傾向が補足された。

###### 3) 外部資金担当

平方委員から、資料5に基づいて賛助会員申込状況及び有料広告申込状況について報告があった。また、賛助会員の丸善（株）と（株）雄松堂書店の経営統合に伴い、丸善雄松堂（株）1社に賛助会員を統合した対応が確認された。

##### (3) 「感謝の集い」

甲斐委員長から、資料6に基づいて「感謝の集い」の実施内容について報告があった。委員から、参加した賛助会員より好評価を得ていることが補足された。賛助会員との関係性に留意しつつ、引き続き良好な関係を構築していくことが確認された。

##### (4) 各協（議）会・各大学

###### 1) 国立大学図書館協会

井上(恵)委員から、資料2に基づいて報告があった。内島委員より、近畿イニシアが後援し、10月に神戸大学を会場に開催された国際シンポジウムの内容について補足された。

###### 2) 公立大学協会図書館協議会

赤崎委員から、資料2に基づいて報告があり、公立大学協会図書館協議会総会において、同協議会の分担金のあり方が議論されたことが補足された。

###### 3) 私立大学図書館協会西地区部会京都地区協議会

山内委員から、資料2に基づいて報告があり、10月に同協議会の第2回研究会が開催されたことが補足された。

###### 4) 私立大学図書館協会西地区部会阪神地区協議会

金委員から、資料2に基づいて報告があった。同協議会での情報共有事例が報告され、近畿イニシアでも同様の取組を行うことの有効性が提起された。また、新年度に

運営委員館のうち関西大学が近畿大学に、能力開発専門委員館のうち大阪電気通信大学が大阪芸術大学に交替することが確認された。

5) 私立短期大学図書館協議会近畿地区協議会

岩見委員から、資料2に基づいて報告があった。同協議会で、3月に脱退1館4月に加盟1館があることが補足された。

(5) その他

第5期科学技術基本計画を巡る動向、平成27年度国大図協シンポジウムの概要、第79回国公立大学図書館協力委員会の議事概要についての報告があった。

## II. 協議事項

### 1. 近畿地区における平成28年度NII目録システム講習会の開催について

甲斐委員長から、平成26年度第2回運営委員会より継続検討となっているNII目録システム講習会の実施について、資料7に基づいて次の事項が提案され、協議の結果了承された。

- ・ 近畿イニシアにより、平成28年度中にNII目録システム講習会を実施すること
- ・ 企画・実行組織として、平成28年度時限で、能力開発専門委員会の下に「目録システム講習会WG」を設置すること
- ・ 平成28年度は試行とし、以後の実施についてはあらためて協議すること
- ・ WGの検討において疑義が生じた場合、能力開発専門委員会及び運営委員会に諮ること

また、WGメンバーは、4月以降に運営委員長と能力開発専門委員会主査が協議の上決定することが了承された。併せて、講習会の具体的内容や実施体制等は、平成28年度第1回運営委員会で決定することが確認された。

なお、協議における主な意見は次のとおり。

- ・ 会員館の状況が多様なため、目録業務に関わる研修のニーズを把握しておく必要があるのではないか。また、適切な開催時期の検討も必要である。
- ・ 自協議会加盟館の中で、集合型目録研修の開催希望を聞いている。
- ・ 「感謝の集い」において、賛助会員から、イニシア主催研修の内容によっては参加を希望するという意見があった。
- ・ 会員館と賛助会員の参加者数のバランスを考慮しておく必要があるのではないか。
- ・ 委員館の各大学に協力してもらっている実情から、能力開発専門委員会メンバーの負担増は避けたい。
- ・ 目録システム講習会というと、どうしても従来の複数日に渡る実習形式を想像してしまうが、それとは違う1日の座学形式とすることもありうる。
- ・ WGの検討事項として、開催時期、会場、内容、講師やスタッフ、予算規模等が考えられる。
- ・ WGメンバーは、会員館から広く募ればよいのではないか。
- ・ 近畿イニシアは互惠を旨とする組織であり、その意識共有のためにも、場合によっては参加費を徴収することもありうるのではないか。
- ・ 近畿イニシアが知識共有や企画実施の基盤となる意義を認める。よって、企画や会場提供に協力することも検討したい。

### 2. 平成27年度決算(案)・監査報告

井上(恵)委員から、資料8に基づいて決算(案)の説明があった。続いて監事館の中村委員から別紙資料に基づいた監査報告があり、協議の結果了承された。

### 3. 平成27年度活動報告(案)

井上(恵)委員から、資料9に基づいて報告書(案)の説明があった。なお、修正事項があれば3月中に事務局に報告することとなった。

#### 4. 平成28年度事業計画（案）

##### (1) 能力開発専門委員会

原主査から、資料10に基づいて平成28年度初任者研修企画案が提案され、協議の結果了承された。

##### (2) 広報・Web 専門委員会

赤崎委員から、資料11に基づいて広報活動の提案があり、協議の結果了承された。なお、3月末で退任となる大阪府立大学の運営委員会指名委員の後任を同大学から選出すること、また、公立大学図書館協議会近畿地区協議会の選出委員は京都府立大学から奈良県立医科大学に変更予定であることが報告された。

##### (3) 外部資金担当

平方委員から、資料12に基づいて賛助会員及び広告掲載の募集について提案があり、協議の結果了承された。なお、メリットを明示するために、募集文案の改訂を行ったことが報告された。

### III. その他

#### 1. 次回開催予定

甲斐委員長より、平成28年度第1回運営委員会の会場は京都大学を予定していること、第2回の会場は第1回運営委員会において決定することが報告された。

#### 2. 平成28年度の体制等

甲斐委員長より、各協（議）会選出館の交替や委員の退職・異動がある場合の後任の通知依頼があった。また、広報・Web 専門委員会は、5月末で任期満了となるため、おつて、事務局から各協（議）会に後任の選出を依頼することが確認された。

また、外部資金担当については、平方委員の継続と、異動となる内島委員の後任を同委員より推薦することが確認された。

#### 3. その他

甲斐委員長より、(株)サンメディアから平成28年度学術情報ソリューションセミナーにおける近畿イニシアの活動発表について打診を受けていることが報告され、協議の結果、依頼を受諾すること及び発表者の人選を委員長に一任することが了承された。

また、リバースチャージの扱いを巡る情報交換が行われた。併せて、近畿イニシアが、国公私を越えた実務的な情報共有の基盤として機能する方向性が確認された。

以 上